

岩手大学獣医学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）

設立 20 周年記念シンポジウム

獣医・農学系大学における食の安全教育

食の安全の確保には、農畜水産業での原材料の生産から加工・製造・流通を経て最終的に人の口に入るまで、全ての国民が関わりを持っており、それぞれの果たすべき役割がある。中でも、保健所において食品事業者の指導監視等に当たる食品衛生監視員、並びに食品事業所において法令や基準を遵守させ、その製造・加工等を衛生的に行わせることを責務とする食品衛生責任者及び食品衛生管理者には、食品衛生に関する幅広い知識と技能に加えて、食に関わるものにとって安全が全てに優先するという倫理観が求められる。食品衛生監視員、食品衛生責任者及び食品衛生管理者の任用資格要件の一つに「大学において獣医学、畜産学、水産学又は農芸化学の課程を修めて卒業した者」があることから、これらの課程を置く大学では、質、量ともに十分な食品衛生学教育を行う必要がある。本シンポジウムでは、今年 20 周年を迎えた FAMS の設置理念である「Farm to Table による横断的衛生管理」の重要性を再確認するとともに、獣医学部及び農学部における食品衛生学教育の現状と課題を明らかにすることにより、大学における食の安全教育のあるべき姿を考える。

日時：令和 8 年 9 月 17 日（木） 13:30～17:00（受付 13:00-13:25）

場所：岩手大学農学部 5 号館 7 番講義室（Web 併用）

受講料：無料

募集人数：100 名程度（会場）

対象者：食品営業関係者、教育関係者、畜産関係者、一般市民

プログラム：

時間（目安）	講義および講師名
13:30	開会挨拶 岩手大学獣医学部長 佐藤 洋
13:30	FAMS 設置の理念と食の安全への貢献 岩手大学 名誉教授／元FAMSセンター長 品川 邦汎 氏
14:10	「動物医学」と「食品安全」との関わり 岩手大学 名誉教授／元FAMSセンター長 佐藤 繁 氏
14:40	農学部における食品衛生学教育の現状と課題 岩手大学農学部 教授 伊藤 芳明 氏
15:10	休憩
15:20	獣医学部における食品衛生学教育の現状と課題 岩手大学獣医学部 准教授 藤原 正俊 氏
15:50	【特別講演】 食品衛生の現況と食の安全を担う人材に求める能力（仮） 厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課 課長補佐 温井 健司 氏
16:50	閉会挨拶 食の安全教育に果たす FAMS の役割 FAMS センター長 佐藤 至

○申込方法：

所定の申込フォームまたはメールにて**9月10日（木）**までにお申し込みください。なお、募集人数に達した時点で締切といたしますのでご了承ください。

<申込フォーム>

<https://forms.gle/SnoR5XoHXRJvAJQK8>



<メール>

申込先アドレス：fams@iwate-u.ac.jp

件名を「FAMS 設立 20 周年記念シンポジウム申込」とし、以下の点をご連絡ください。

1. 参加者氏名（ふりがな）
2. 所属
3. 電話番号
4. メールアドレス
5. 参加形態（対面・オンライン）

※申込に際して取得した個人情報は、研修会等に関するご案内・ご連絡、参加登録、及び弊学からの情報提供のために利用します。

申込・連絡先：〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8

岩手大学獣医学部附属動物医学食品安全教育研究センター事務局 担当：上野・岩間

TEL：019-621-6108 FAX：019-621-6107

E-mail：fams@iwate-u.ac.jp

電話受付時間：月～金（祝祭日、8月8日～17日を除く）午前9時～午後4時

主催：岩手大学獣医学部附属動物医学食品安全教育研究センター

共催：岩手大学獣医学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センター